



NET 3ℓ
液状

■特徴

キトチンキは、カニガラから抽出したキチン質を原料にし、作物に吸収されやすく低分子化したキトサンを高濃度（10%）で含んだ、健康増進資材である。これは市販のキトサンの平均濃度の約3倍以上である。

■効果

①抵抗力・耐病性強化、②有効微生物群の増殖、③発根性強化、

④活着促進、⑤葉面保護

キチン質は、動物性の繊維質のためこのままでは植物には吸収されないが、キトチンキは、酵素で分解を進め、低分子化することで吸収利用しやすい状態の為、効果が高い。

キトチンキを植物が吸収すると植物体内からキチナーゼという酵素を多く産出するようになる。キチナーゼは、害虫の体表面の殻を溶かす酵素。葉・茎・実に害虫が寄り付きにくくなる防虫・外敵防御効果がある。

土壌中では、キトサンオリゴ糖となり土壌微生物（特に放線菌類）のエサとして働き、有効微生物群の増殖を促進し、悪玉微生物を抑制する効果もある。

また、葉面散布することでキトサンの保護膜を葉面に作り、作物の防虫機能（キチナーゼ産出）をさらに向上させる。

■使用方法

- ・ 抵抗力、耐病性強化 ≡ 葉面散布50倍液を7～10日おきに
- ・ 病気対策（発病時） ≡ 葉面散布30倍液を3～7日おきに
- ・ 発根促進 ≡ 50倍液のカン水
- ・ 土壌散水は、3ℓ（1本）をたっぷり得水で希釈して圃場全体に散水

■他のミズホ資材との併用

・ 苗の活着促進 ≡ バイオ根助との混用液（ともに500倍液）をどぶ漬けしてから定植。